

年 組 () 名前

サイン

えさを食べるラッコ(5月31日、北海道浜中町で)



北海道で海にいる生き物が人気をあつめています。

野生の〇〇〇 旅人くぎづけ

太平洋に面する浜中町の霧多布岬周辺で、野生のラッコたちが愛らしい姿を見せている。

眼下に海を望む岬の遊歩道からは、ラッコたちが海に潜ったり、海面に浮かんで餌を食べたりする様子を見ることが出来る。遊歩道にはカメラやスマートフォンを手に多くの観光客らが集まり、ラッコが現れるとしきりにシャッターを切っていた。

同町商工観光課によると、岬周辺は「ラッコ効果」で人氣が高まっているという。担当者は「ぜひ一度見に来てほしいが、ラッコを刺激しないよう、ルールを守って撮影や見学をしてもらいたい」と話している。

(2026年6月5日読売新聞北海道版より)

【1】〇〇〇には写っている生き物の名前がはいります。3字でかきましょう。

--	--	--

※先生やおうちの人といっしょによみましょう

【2】うみにいる動物の絵をうらにかきましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆みなさんも知っているあのお菓子のパッケージが、しばらくの間、白黒の2色になります。

(2026年5月15日 読売中高生新聞より)

ポテチ包装 白黒に

カルビーが「ポテトチップス」など主力商品のパッケージを白と黒の2色に変えて販売すると発表した。

中東情勢の緊迫化で、印刷インクの調達が不安定になっていることが理由で、通常は5～7色のパッケージを2色にする。対象は、ポテトチップスの「うすしお味」や「コンソメ



▲現在の「ポテトチップス うすしお味」のパッケージ(左)と白黒印刷のパッケージ(右、イメージ)＝いずれもカルビー提供



パンチ」など計14商品。5月下旬以降に順次変更し、当面の間続けるという。

日本は中東に原油輸入の9割を依存しており、原油から精製される石油製品のひとつ「ナフサ」も不足している。ナフサ不足でインクの原料である溶剤や樹脂の品薄状態が続いている。

【1】パッケージを白黒に変えるのはなぜですか。記事から読み取って書きましょう。

【2】石油製品のナフサが手に入りにくくなったことによって、影響を受ける商品や身の回りのものを調べ、書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

海外からも熱い視線が注がれる日本の中古品。人気の秘密に迫ると、「几帳面」や「丁寧」といった日本人の気質と関係していることが見えてくる。

「3万円、3万円、3万5000円!」。5月下旬、埼玉県内の中古品オークション会場では、家電や食器、アニメグッズなどが出品され、海外のバイヤーたちが次々と目当ての商品を競り落としていた。

タイから仕入れに訪れていた女性バイヤー(35)は、「ユーズド・イン・ジャパン」の特長として「全体的に状態が良く、使用感が出やすい商品もきれいなものが多い」と指摘する。タイでは日本の中古品が特に人気だといい、「商品が入荷すると、客が殺到して争奪戦になるほど」と話す。

オークションを手がける「浜屋」(埼玉)は、30年以上前からさまざまな中古品を海外に輸出してきた業界の草分け的存在。担当者は「元々、家

中古品 食器やおもちゃ人気

Used in Japan

日本で使われた中古品

特長

- ▶ 品質・状態の良さ
- ▶ 信頼できる鑑定技術
- ▶ 確立された販売網



電などは『メイド・イン・ジャパン(日本製)』の中古品が好まれていた。近年、日本製に限らず多様な中古品が市場に出回るようになるなかで、海外の人たちの目線で『ユーズド・イン・ジャパン』の品質が評価され、ブランド化していった」と説明する。

◆メイド・イン・ジャパンならぬ「ユーズド・イン・ジャパン」が、海外で注目されています。なぜ、人気があるのでしょうか。

(2026年5月29日 読売中高生新聞より)



検査・鑑定 品質支える

古くから海外で人気が高い中古の自動車や機械などは、定期的な点検・整備が徹底されている点が高評価につながっているようだ。

年間19万台の中古車を販売・輸出する「ビィ・フォアード」(東京)

の広報、丹龍太郎さん(52)は「厳しい車検制度のある日本の中古車は、古くても品質が高い。アフリカでは、走行距離が10万kmを超えていても『ニューカー』と呼ばれ、新車に近い感覚で売買されている」と語る。

A-1に学ばせ鑑定

海外では精巧な偽物も数多く出回っているブランド品。日本で精密な鑑定を受けた商品は「チェックド・イン・ジャパン」とも呼ばれ、高い信頼性を誇るという。

中古ブランド品の販売大手「コメ兵」(愛知)では、バッグや財布などを買い取る際、鑑定士による確認だけでなく、AI(人工知能)を活用した独自の判定システムも導入している。

【1】ユーズド・イン・ジャパンの特長と、海外で人気がある理由を、記事からまとめましょう。

【2】あなたが使ったもののうち、海外で「ユーズド・イン・ジャパン」として人気が出そうな商品を考え、よく売れると期待する理由とともに書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆米ミネソタ州ミネアポリスで、1月に相次いだ連邦捜査官による市民射殺事件では、生成AI（人工知能）で作られた偽画像がSNSで広がり、混乱を招きました。（2026年2月16日 読売新聞夕刊より）

ミネアポリスでは1月、3児の母レネ・グッドさん（37）と看護師のアレックス・プレッティさん（37）が、不法移民の摘発に当たっていた移民・関税執行局（ICE）などの捜査官に射殺された。いずれの事件もAI利用との向き合い方が問われた。

グッドさんが運転する車にはねられると思って発砲したとされる捜査官は、防寒用の布で口と鼻を覆っていたが、SNSでは「素顔」とされる画像が出回った。ファクトチェック団体「リード・ストーリーズ」は、これがX（旧ツイッター）掲載の対話型生成AI「Grokk（グロック）」で作られたと指摘した。

事件直後、Xでは「この人殺しのマスクを取れ」などとグロックに指示を出した利用者が複数いた。顔の下半分はAIの予想にすぎないが、SNS上ではこの画像を基に「犯人捜し」が行われた。

もう一つの事件では、抗議活動に参加していたプレッティさんが複数の捜査官に制圧され、銃で撃たれた。SNSでは、倒れ込むプレッティさんの背中に捜査官が銃を突きつける画像が広がった。動画の一場面を生成AIで加工したとみられ、よく見ると別の捜査官の頭部が消えているが、衝撃的なシーンに気を取られ、多くの人が本物だと信じ込んだ。

連邦議会上院では、民主党議員がこの偽画像をパネルに

議会にまで登場

ミネソタ射殺



生成AI偽画像事件混乱

して議場で示した。議員事務所の担当者は取材に対し、「オンラインで拡散していた画像だったが、少し編集されていることにスタッフが気づかずに使ってしまった」と釈明した。

生成AI画像・動画の問題に詳しいコロラド大ボルダー校のサンドラ・リストフスカ准教授は、19世紀にニューヨークで偽画像を作成、販売した写真家が摘発された事例を挙げ、「画像編集は決して新しい問題ではない」と指摘する。その上で、「深刻なのは生成AIによって特別な技術が不要となり、SNSで広く拡散が可能になったことだ」と述べた。

一方、リストフスカ氏は、偽物に度々さらされることで人びとがあらゆる画像・動画を信じなくなる環境こそが真に危険だと強調した。本物を「AIで作られた偽物だ」と主張して言い逃れできれば、うそつきが得をする。専門家が「うそつきの分け前（Liar's Dividend）」と呼ぶ現象が日常化し、事実が「フェイク」と認識されるケースが増えれば、健全な民主主義の維持にも害となりかねない。

【1】生成AIによって偽画像の危険は、なぜ深刻になったのか、記事からまとめましょう。

【2】「うそつきの分け前」と呼ばれる現象が日常化すると、なぜ健全な民主主義を維持するうえで害になるのか、あなたの考えを裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆^{だざいふ}太宰府^{てんまんぐう}天満宮^{ほんでんだいかいしゅう}の本殿大改修^{かんりょう}が完了し、報道陣^{ほうどうじん}に公開されました。

Restored Dazaifu Tenmangu building unveiled to press



restore: 修復する
unveil: 公開する
press: 報道機関、新聞、マスコミ
newly: 新しく
shrine: 神社、神殿
reporter: 記者
prefecture: 都道府県
large-scale: 大規模
restoration work: 修復工事
similar: 類似の
renovation: 修繕
era: 時代、時期
enshrine: (神聖なものとして) 大切にする
revere: 崇敬する
aristocratic: 貴族の
politician-scholar: 政治家でも学者でもある人物
worship: 崇拝する
patron: 後援者
rebuild: 再建する
designate: 指名する
property: 資産

DAZAIFU, Fukuoka - The newly restored honden main building of Dazaifu Tenmangu shrine has been unveiled to reporters in Dazaifu, Fukuoka Prefecture.

The large-scale restoration work is the first the shrine has seen in 124 years, with similar renovations last happening during the Meiji era (1868-1912).

Dazaifu Tenmangu enshrines Sugawara no Michizane, a revered aristocratic politician-scholar who is worshipped as a patron god of scholars. The work took place ahead of the 1,125th anniversary of his death in 2027. The honden, rebuilt about 430 years ago, is designated as an important cultural property.

(2026年5月20日 The Japan Newsより)

すがわらのみちざね

【1】菅原道真のことを、記事はどのように説明していますか。日本語で書きましょう。

【2】本殿は何に指定されていますか。英語と日本語で書きましょう。

英語

日本語